

姫路市生涯現役推進計画 アクションプラン事業 進捗状況 (令和5年3月末現在)

施策(大分類)	総合評価				新型コロナウイルスの影響により未実施※	事業総数
	A評価	B評価	C評価	D評価		
1 健康づくり	9	9	0	0	0	18
2 役割創出・社会貢献	15	14	0	0	1	30
3 学習・社会参加	17	14	0	0	0	31
計	41	37	0	0	1	79
割合(%)	51.9%	46.8%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%

事業数は再掲を除く。ただし、事業の内容、指標／目標値が異なる場合は、それぞれ計上。

【評価方法について】

5つの評価項目(①数値目標等達成率、②事業の参加者、利用者、受益者等の満足度、③生涯現役推進への配慮、④情報技術の活用の有無、⑤多世代交流の有無)の評価を踏まえ各事業を生涯現役の視点からA～Dの4段階で総合的に評価

A: 十分達成できた B: おおむね達成できた

C: あまり達成できなかった D: まったく達成できなかった

※ 新型コロナウイルスの影響により事業未実施のものは評価できないため別欄に記載した。

1 健康づくり

(1) 健康づくりの機会・場の充実【重点施策・健康増進事業】

① 運動する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
1	高齢者スポーツ大会の開催	姫路市老人クラブ会員を対象に、スポーツ大会を開催する。	出場校区率	99%	90%	10月4日 姫路市陸上競技場で開催 グラウンドゴルフ(54チーム324人) ※輪投げは感染防止対策により実施せず	A	3年ぶりの開催で参加者の満足度は高かったと考える。高齢者の日頃の練習の成果を発揮できる場として機能しており目標を達成できた。	生涯現役推進室
2	生涯現役体操教室の実施	年齢や体力を問わず、気軽に身体を動かせる「生涯現役ガンバルンバ体操」や、さまざまな運動を行う教室を開催する。	定員充足率	100%	100%	・普及啓発用DVDの制作・配布 ・各種講座・イベントでのデモンストレーション(計1回) ・ガンバルンバ体操&サプライズ健康教室の開催(計20回、参加者のべ744人)	A	健康教室には平均37名の方が参加し、健康教室参加者の満足度は高い。また、体操のDVD配布や動画配信により、高齢者の健康増進に寄与できた。	生涯現役推進室
3	市民歩こう会の実施	市内各ブロックで歩こう会を開催する。	参加者数	400人	664人	市内6ブロックで実施	A	各ブロック共に子どもから高齢者まで幅広い年代が参加しており、健康面だけでなく年代を超えた地域のコミュニケーションの推進にも繋がっている。	スポーツ振興室
4	地域スポーツ振興事業の実施	各校区スポーツクラブ21の地域スポーツ振興事業部門が中心となり、各種イベントを実施する。	実施校区数	71校区	70校区	スポーツクラブ21に事業の実施を委託し、1校区を除くすべての校区(68小学校区70クラブ)で実施した。	A	歩こう会やベタンク等、老若男女問わず参加できるスポーツイベントを各校区のニーズに合わせて開催し、校区住民の交流を深めることができた。	スポーツ振興室
5	地域スポーツクラブの活動支援	各校区スポーツクラブ21で構成された姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業を行う。	交流大会の参加者数	800人	837人	姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業などを行った。 ・全市交流大会(ベタンク、アジャタ・グラウンドゴルフ) ・ブロック交流大会	A	各ブロックで特色に応じたスポーツイベントを行うことで、より多くの参加者に、より身近にスポーツに触れ合う機会を作ることができた。	スポーツ振興室
6	各種体育施設・健康づくり施設の運営	市民が各自の年齢や体力に応じ、気軽に健康づくりに取り組める施設を運営する。(網干健康増進センター、すこやかセンター、夢前福祉センター、総合スポーツ会館等)	利用者数 (網干健康増進センター(健康づくり施設))	110,000人	120,011人	利用者数が前年度比で約1万7千人増加した。コロナ禍からの回復とともに2年連続して増加しており、引き続き自主事業等による集客を行っていく。	A	目標値を達成し、前年度よりも約1万7千人増加した。	エコパークあぼし (網干健康増進センター)
7			利用者数 (すこやかセンター(健康づくり施設))	179,000人	121,797人	サービスプログラム内容の定期的更新および内容充実、自主事業の充実を図った。	B	新型コロナウイルスの影響が残っているものの、利用者は徐々に回復し、利用者の評価も概ね好評であった。	保健福祉政策課 (すこやかセンター(健康づくり施設))
8			利用者数 (夢前福祉センター(健康づくり施設))	60,000人	50,466人	開館日数 306日 施設総利用者数 44,823人 健康施設利用者数 50,466人 ※延人数 広報、アンケート実施	B	新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しているものの、コロナ前の状況に戻りつつある。引き続き、感染対策に配慮しつつ、利用者回復に努める。	高齢者支援課 (夢前福祉センター(健康づくり施設))
9			利用者数 (総合スポーツ会館等30施設)	1,100,000人	1,136,038人	各体育施設の管理運営(指定管理21施設、直営施設8施設、民間体育施設一般開放事業1施設)	A	利用者の減少等が想定される中、人数制限や検温機器導入を行い、ガイドラインに基づいた感染対策を実施したことで利用者数の目標値を達成した。	スポーツ振興室 (総合スポーツ会館他30施設)
10	市民会館・地区市民センターの運営	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	56%	55.40%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適で安全な施設整備を実施した。	B	目標数値を概ね達成することができた。また利用者の満足度も高かった。	生涯現役推進室

② 科学的知見に基づいた健康づくり

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
11	シニア健康づくり事業の実施	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラムを考案する。	獨協大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康体操の検証、啓発を行った。	獨協大学と連携して考案した健康体操の効果を更に検証するため、歩行体操及び歩行測定会を実施した。また、姫路ケーブルテレビで放送後、DVDを老人クラブ会員へ配布した。 ※獨協大学市民講座でも体操の啓発を行った。	B	大学と連携しながら、高齢者の誰もが取り組みやすい体操の考案とDVD化ができた。	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	生涯現役推進室

(2) 健康づくりに取り組む人への支援【重点施策・健康増進事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
12	介護予防普及啓発事業の実施	地域において高齢者がいつでも元気でいること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	650回	317回	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催。 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援。	B	目標値に達成は難しかったが、コロナ禍でも高齢者の集まる機会を活用し普及啓発に取り組むことができた。	地域包括支援課
13	健康増進のための啓発・教育・相談の充実	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	170回	110回	・集団健康教育 110回 【内訳】 ・重点健康教育 34回 (一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等) ・その他健康教育 76回	B	新型コロナウイルスの影響で健康教育の実施回数が少なかったが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	保健所健康課

② 健康づくりの担い手への支援

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
14	食生活改善ボランティアリーダーの養成	姫路いずみ会のリーダー養成の講習会を開催する。	受講者数	20人	15人	・開催回数 9回(6月～翌年2月までの各月1回) ・参加者 15人	B	教室受講者の93%が修了し、そのうちの半数が食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	保健所健康課
15	スポーツ指導者養成講習会の開催	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	172人	アジャタ体験講習会 76人 ポッチャ体験講習会 65人 スナッグゴルフ体験講習会 31人 (R4～R5累計 317人)	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	スポーツ振興室
16	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	515グループ	476グループ	介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ・継続支援を実施した。	B	コロナ禍で活動が自粛される状況ではあったが、地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	地域包括支援課 保健所健康課

③ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
17-1	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。 ※健康増進活動のみ抜粋	助成校区率(生涯現役地域活動助成事業のうち、健康増進事業)	55%	48%	健康増進活動 対象:24校区	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で目標値を下回ったが、事業参加者の満足度は高く、高齢者同士の交流や健康維持に努めることができた。	生涯現役推進室

(3) 健康づくりに関する意識啓発

① 情報提供や意識啓発

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
18	地域放送メディアや動画配信を通じた運動講座の実施	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者が自主的に健康づくりに取り組めるように支援する。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人が自主的に健康づくりに取り組んでいる。		多くの人が自主的に健康づくりに取り組めるよう、高齢者向けの運動番組を毎日放送した。	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者の自主的な健康づくりへの取り組みを支援した。	A	メディアを通じた生涯現役の意識啓発として上手く機能しており目標を達成できた。	生涯現役推進室
再掲	介護予防普及啓発事業の実施 ※No.12再掲	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	650回	317回	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催。 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援。	B	目標値に達成は難しかったが、コロナ禍でも高齢者の集まる機会を活用し普及啓発に取り組むことができた。	地域包括支援課
再掲	健康増進のための啓発・教育・相談の充実 ※No.13再掲	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	170回	110回	・集団健康教育 110回 【内訳】 ・重点健康教育 34回 (一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等) ・その他健康教育 76回	B	新型コロナウイルスの影響で健康教育の実施回数が少なかったが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	保健所健康課

2. 役割創出・社会貢献

(1) 社会貢献活動の機会・場の充実

① ボランティア活動の機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
19	見守りウォーキングの実施	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ること、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ること、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で50人の登録があった。	A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ること、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
20	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように「あんしんサポーター」がボランティア活動を行う。	あんしんサポーター登録者数	546人	647人	・養成講座を半日に短縮、合計7回開催。 ・姫路市民アプリ「ひめパス」を開始し、地域包括支援センター等にQRコードを配布。 ・活動交付金について、自治体ポイントで付与を行った。 ・ボランティア同士の交流や、知識を得るための交流会やフォローアップ研修会を開催。	A	ボランティア養成方法の変更や、姫路市民アプリ「ひめパス」の利用が開始された。	900人	地域包括支援課
21	スクールヘルパー制度の推進	地域ボランティア「スクールヘルパー」が登下校時の声かけ、校内巡回等の活動を行う。	登録者数	16,000人	17,257人	・スクールヘルパーの募集 ・活動用具等の準備 ・補助金振込	A	登録者数が高水準を維持しているのは、地域の方々の継続的な協力によるものと考えられる。ボランティアの高齢化による課題は残る。	15,000人	健康教育課
22	各種ボランティアの活用(観光、国際交流、文化振興、美術館、文学館)	市が実施する事業・イベントに協力するボランティアを募集・活用する。	登録者数	910人	899人	観光ボランティアおもてなし研修会で、175名の参加があった。姫路お城まつり、観月会、「姫路城Castle History 鏡花水月」で合計38名のボランティア参加があった。	A	イベント開催にあたり、姫路市観光ボランティアへの積極的な参加募集やボランティアおもてなし研修会を実施し、市民によるボランティア活動の場・機会の充実に図った。	950人	観光推進課
23-1			ボランティア登録人数・養成講座参加人数	1,400人	449人	日本語学習支援ボランティア養成講座開催受講修了者46人 ひめじ国際交流フェスティバル開催中止、代替イベントとして写真展を実施 通訳翻訳ボランティア、ホストファミリーボランティア等随時募集	B	新型コロナウイルスの影響により数値目標を達成できなかったものの、あらゆる世代の方々にボランティア等に参加・登録していただくことができた。	1,400人	文化国際課(国際交流)
23-2			ボランティア登録人数	50人	38人	○文化ボランティア活動登録者数 ・文化ボランティア 14人 ・通訳ボランティア 24人	B	新型コロナにより人数は通常より少ないものの、積極的な活動により事業実施に貢献した。	50人	文化国際課(文化振興)
24			ボランティアリーダー会議を中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。		ボランティアリーダー会議を中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動できた。	班を8つに再編を行い、前年度実績をベースに活動を行った。また、令和5年度に向け、新規登録者募集を行った。	B	ボランティアリーダーを中心に美術館の円滑な運営に寄与している。また、同活動は世代間交流の場でもあり、幅広い世代が「生涯現役」について考える機会となったとともに、高齢者の社会参画と生きがいづくりに資することができた。	ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	美術館総務課
25			1月あたりのボランティア活動人数(延べ)	70人	56人	発送作業、行事受付などの活動のほか、イベントの運営やワーキンググループ活動等を実施	B	ボランティアとのコミュニケーションを密にし、過大な負担をかけることなく学びと活躍の機会の充実に努めた。さらに養成講座を実施し、25名の新規ボランティアの登録を得ることができた。	70人	姫路文学館学芸課

(2) 社会貢献活動に取り組む人への支援【重点施策・役割就労事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
26	市民活動に関する相談機能の充実	ボランティアやNPO活動に関する相談を受け、活動への参加機会の拡充を図る。	相談件数	380件	300件	市民活動・ボランティアサポートセンター職員が、NPO法人、ボランティア団体等を中心とした市民活動に関する相談に対して個別・具体的に対応した	B	コロナ禍の終息により実績件数も増えてきており、ボランティア活動に関する相談について個別・具体的に対応できた。	市民活動推進課
27	生涯現役推進専門員の配置	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行っている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行った。	・相談業務の実施(年間120件) ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置のPR活動(ひめじおんまつり)	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行っている。	生涯現役推進室

② 活動への参加促進

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容						
再掲	見守りウォーキングの実施 ※No.19再掲	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ること、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で50人の登録があった。		A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
28	市民活動に関する講座・研修会の開催	市民活動に対する啓発や参加促進を目的とした講座・研修会を実施する。	受講者数	95人	107人	各種講座・研修会等の実施(年5回)		A	内容的に充実し、目標人数にも達した	120人	市民活動推進課
29	地域の新しい担い手づくりの推進	自ら地域課題を見つけ、解決する力を持つ「新しい担い手」を養成するための講座等を開催する。	受講者数	30人	28人	55才からのリアルセカンドライフ講座 11/5.19.23(土・土・祝) (R3～R4累計 69人)		A	自分らしいライフスタイルの中に地域活動を取り入れることの大切さを伝える内容の講座ができた。	180人 (R3～R8累計)	生涯現役推進室
再掲	食生活改善ボランティアリーダーの養成 ※No.14再掲	姫路いずみ会のリーダー養成の講習会を開催する。	受講者数	20人	15人	・開催回数 9回(6月～翌年2月までの各月1回) ・参加者 15人		B	教室受講者の93%が修了し、そのうちの半数が食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	20人	保健所健康課
再掲	スポーツ指導者養成講習会の開催 ※No.15再掲	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	172人	アジャタ体験講習会 76人 ボッチャ体験講習会 65人 スナッグゴルフ体験講習会 31人 (R4～R5累計 317人)		A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	550人 (R3～R8累計)	スポーツ振興室

③ コーディネート組織の設置

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
30	個人ボランティア登録制度の実施	ボランティアに関する情報提供を行う個人登録制度を実施する。	登録者数	440人	398人	・ボランティア募集記事を掲載した通信を毎月発送 ・メールニュース配信システムを運用し、ボランティア募集等に関する情報を発信	B	コロナ禍は終息に向かったが、ボランティアメニューは増えず、新規登録も少なかった。	市民活動推進課
31-1	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	マッチング件数	80件	28件	・依頼件数 21件 ・マッチング件数 28件 ※1件の依頼で複数回のマッチングあり ・ひめじおんまつりにブース出展し、PRを実施	B	新型コロナウイルスの影響により目標値を達成できなかったが、活動後のアンケートで満足度が高く、高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進できたと考ええる。	生涯現役推進室
32	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を登録し、子育ての援助活動を行う。	60歳以上の提供・両方会員(子育ての援助を行う人)の数	222人	237人	○登録会員数 2,536人 ・依頼会員 1,754人、提供会員 678人(うち60歳以上237人)・両方会員 132人 ○援助活動件数 3,464件 ○事業説明会の開催 220回(363人参加) ○講習会、交流会の開催	A	引き続き会員数は少しずつ増えており、実際に活動している会員間(提供会員・両方会員と依頼者・その子ども)の結びつきは強く、双方の満足度は高い。	こども支援課

④ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
33	こども見守り隊への助成	連合自治会等の団体が行う通学路の立番や防犯パトロール等の活動に対し助成する。	助成地区数	73団体	71団体	連合自治会(71地区)に対し、15万円を上限に助成した。 青パトに係る臨時的経費として、青パトを所有する団体(3団体)に対し、5万円を上限に助成した。	A	こども見守り隊の主な活動員は高齢者だが、児童や生徒への見守りを通じて交流を深める機会になった。	危機管理室
34	提案型協働事業の実施	市民と行政が協働して行う事業の提案を募集し、選定された事業に対して補助を行う。	高齢者関係の採択件数	2件	2件	4月15日～5月13日 提案募集 6月19日 審査会開催 7月中旬 採択団体決定 (R3～R8累計 3件)	A	目標値どおり事業を実施することができ、高齢者に関わる問題について、民間でも高い関心と危機感を持って取り組んでいたと実感できた。	市民活動推進課

⑤ 活動に関する情報提供

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
35	市民活動団体登録制度の実施	市民活動団体の登録制度を実施し、情報や交流機会を提供する。	登録団体数	400団体	362団体	・印刷室、活動室の利用 ・ボランティア活動に関する情報提供、相談対応、活動PR、市内公共施設の使用料減免、ひめじおんまつり等の連携交流会の実施	B	コロナ禍が終息し、通常のイベントを開催することができた。	市民活動推進課
36	市民活動に関する情報の収集・提供	市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して提供する。	市民活動ネットひめじへのアクセス数	15,000件	12,926件	ボランティア活動やNPO活動などの市民活動に関する情報を収集し、様々な媒体を活用して情報発信することで、社会貢献活動への参加の促進を図る。	B	SNSの活用により、幅広い世代への情報発信ができた。	市民活動推進課
37	生涯現役の推進に貢献している団体の表彰	生涯現役を推進する活動を行っている団体を表彰し、その取組みを全市に広げる。	受賞団体数	4団体	3団体	姫路市老人クラブ連合会から推薦を受けた校区老人クラブ及び単位老人クラブを表彰(R3～R4累積 6団体)	A	数値目標は下回ったが、生涯現役を推進する活動を熱心に行う団体を顕彰し、その活動を他の団体にも広めるという事業の目的は達成できた。	生涯現役推進室

⑥ 老人クラブ活動への支援

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
38	アドバイザー派遣事業の実施	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	老人クラブからの要望に応じて、各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣する。		老人クラブからの要望に応じて、各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣した。	連合自治会等から、老人クラブを含む地域団体の活性化や、高齢者を含む住民の地域活動への関わり方といった地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があったため、最適なアドバイザーを派遣した。 令和4年度派遣回数 4回(3団体)	B	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、老人クラブからの要望に応じてアドバイザーを派遣する体制を整えている。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	市民活動推進課
17-2	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。	助成校区率(生涯現役地域活動助成事業のうち、地域活動事業)	60%	42%	【老人クラブ活動助成事業】 社会奉仕活動、教養・文化活動、健康増進活動に助成 【老人クラブたすけあい運動推進事業】 子育て支援活動、地域見守り活動に助成 【生涯現役地域活動助成事業】 地域交流活動 対象:21校区 健康増進活動 対象:18校区	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、参加者の満足度は高く、高齢者の生きがいづくり及び地域の住民や世代間の交流を促進することができた。	80%	生涯現役推進室
39	老人クラブの加入促進活動への支援	老人クラブの加入促進活動を支援する。	会員数	42,500人	36,754人	姫路市老人クラブ連合会が実施する加入促進活動に対して資金面等で援助を行った。	B	老人クラブの解散に伴い会員数は減少したが、機関紙「熟年」の自治会等配布や市老連HP、お城まつり総踊り等によるPR活動を支援できた。	45,000人	生涯現役推進室
40	老人憩の家整備補助事業の実施	老人クラブの活動拠点を充実させるため、備品購入費を補助する。	補助申請率	90%	70%	老人憩の家の整備充実を図るため、備品購入費を補助した(1箇所につき20万円まで)。補助予定数20箇所、助成数14箇所	A	申請件数は目標値を下回ったが、クラブ会長から満足の意見が多数あり、老人クラブの活発な活動を促進できた。	95%	生涯現役推進室

(3) 就業への支援【重点施策・役割就労事業】

① 就業機会の提供

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
41	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」へ掲載し、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名をHP等で情報提供を行った。	シニア活躍事業所を新たに17事業所認定し、事業所名とシニア雇用の取組を市HP等で公表した。 また、シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介するためのフォームを構築した。	B	シニア活躍事業所として新たに17事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課
42		ハローワーク等関係機関と連携しながら、高齢者の希望に合った多様な働き方を促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。			新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者就職説明会は中止。			令和4年度は実施できなかったが、高齢者が希望に合った仕事とマッチングできるよう、ハローワークと連携していきたい。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。
43	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、運営費等を助成する。	会員数	2,500人	2,113人	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、事業費等を助成した。	A	高齢者の就業機会の確保とその福祉の増進を図り、その能力を活かした活力ある地域づくり及び生涯現役社会の推進に寄与している。	2,500人	労働政策課

② 就業に関する相談等

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
44	姫路しごと支援センター、雇用アドバイザーの活用、雇用情報の提供	姫路しごと支援センターにおいて、就職に関する相談等の支援を行う。また、雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供を行うとともに、弁護士や社会保険労務士による労働相談を行う。	相談件数	1,000件	1,168件	・キャリアカウンセラーによる就職に関する相談や、就職準備セミナー及びパソコン講座の実施(831件) ・雇用アドバイザーによる雇用相談(215件) ・弁護士、社会保険労務士による労働相談(122件)。	A 目標値を上回る件数の相談を受けることができ、十分な成果を上げることができた。	1,000件	労働政策課

③ 企業への働きかけ

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
45	高齢者の雇用に関する企業への働きかけ	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の雇用促進・雇用環境整備等の取組を企業に働きかける。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	・パンフレットの窓口配布 ・兵庫県雇用開発協会への支援 ・高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知	B	情報提供や雇用開発協会の各種活動を通じ、高齢者の雇用に関する企業への働きかけが実施できている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	労働政策課
再掲	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進 ※No.41再掲	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」へ掲載し、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、シニア活躍事業所認定事業を開始した。	シニア活躍事業所を新たに17事業所認定し、事業所名とシニア雇用の取組を市HP等で公表した。 また、シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介するためのフォームを構築した。	B	シニア活躍事業所として新たに17事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課

(4) 起業・開業への支援

① 起業・開業への支援

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
46	起業を支援する講座の充実	起業家を育成する創業・起業セミナーや起業家フォローアップセミナーを、関係機関と連携し開催する。	55歳以上の受講者数	15人	18人	・創業セミナーの開催 ・創業スタートアップセミナーの開催	A 目標とする受講者数には達していないが、毎年一定数の参加者があり、受講者満足度も高いため、生涯現役の推進に一定の効果があったと思われる。	28人	産業振興課

3 学習・社会参加

(1) 学習活動の機会・場の充実【重点施策・学びの充実事業】

① 学習する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R4事業実績				生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
47	シニアオープンカレッジの開催	市内の大学が開設する公開講座に対し支援する。	講座数	5講座	5講座	市内4大学5キャンパスで開催 ・開催時期:9～11月 ・回数:講座毎に5回程度 ・定員:各回50人程度	A	新型コロナウイルス対策のため定員数を減らしたものの、すべてのキャンパスで講座を開催し、数値目標を達成した。また、高齢者が参加しやすいよう広報を行い、多くの高齢者が参加していることから、事業目的は達成できた。	5講座	企画政策推進室
48	生涯現役応援講座の開催	生涯現役をめざして自分らしくいきいきとした生活が送れるよう応援するための講座を開催する。	定員充足率	100%	100%	生涯現役応援講座「自分らしい人生のしめくり講座」→自分らしい終末や葬儀の生前準備について学ぶ。 定員25人 応募者40人 参加決定40人	A	目標数値を達成し、参加者の満足度も高かった。参加者が必要としている情報の提供や、社会問題について考えるきっかけづくりができ、最後まで自分らしく過ごすために必要なことを学ぶことができた。	100%	男女共同参画推進センター
49	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	30回	21回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、「高齢者消費者被害防止講座/悪質商法に強くなろう!」を開催	B	コロナ禍で対面での講座が困難な時期はあったが、高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を実施できた。	50回	消費生活センター
50	農業体験研修事業の実施	農業の多様な担い手を育成する農業研修「ひめじ帰農塾」と、市政出前講座などを活用した栽培講座「ひめじ楽園塾」、また研修修了生から栽培指導ボランティア「ひめじアグリダー」を育成する。	受講者数	670人	1,444人	○「ひめじ帰農塾」 講座部門 ・座学コース 48人 実習部門 ・野菜コース 12人 ・果樹コース 12人 ・花苗コース 9人 ・アグリダー 8人 ○「ひめじ楽園塾」・全57回開催 1,355人	A	好古学園大学校では各学年2回程度の毎年開催が定着し、市内小学校や公民館への出前講座も増加傾向にある。	座学コース 60人 野菜、果樹、花苗・鉢花コース各10人、ひめじ楽園塾1,000人 ひめじアグリダー 10人	農業振興センター
51	市民教養講座の開催	歴史講座、現代社会講座を開催する。	受講者数	1,900人	1,783人	(1)歴史講座 4コース 各8回を開催 参加者 1,489人 (2)現代社会講座 1コース 5回開催 参加者 294人	A	新型コロナウイルスの影響を受けたものの受講者数が多く、平均出席率もおおむね7割の水準にあることから、受講者の満足度が高いと思われる。	1,900人	生涯学習課
52	公民館活動の充実	教養講座、地域講座、文化講座の充実を図る。	受講者数	480,000人	372,536人	【教養講座】783回 参加人数 24,074人 【地域講座】4,121回 参加人数 69,875人 【文化講座】34,271回 参加人数 278,587人	B	各公民館において地域ニーズや地域課題を把握し、公民館事業に取り入れ、企画・実施することができたと評価している。	480,000人	生涯学習課

② 生涯学習大学校・好古学園大学校の充実

No.	事業名	事業概要	R4事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
53	生涯学習大学校活動の充実	生涯学習大学校講座の充実を図る。	在籍者数	2,540人	1,921 人	本科36講座(1年保健医療開講せず) 1年1,480人 2年441人 合計1,921人	B	講座により定員充足率に違いは有るが、学生のニーズに応じて毎年講座の見直しを行い、生涯にわたって幅広い知識を得たいという学習意欲に応えることができた。	2,600人	生涯学習大学校
54	好古学園大学校活動の充実	好古学園大学校講座の充実を図る。	在籍者数	1,690人	1,542人	(1)専門講座 ・大学課程(4年):8学科・9教科 13クラス ・大学院課程(2年):8学科・9教科 13クラス (2)学年別教養講座 各学年1回 計6回 (3)全学教養講座 年6回 クラブ活動(13クラブ) 学校行事(合同芸能発表会・音楽会・学園祭)等	B	コロナ禍の中ではあったが、専門・教養講座の他、学園祭芸能発表会・作品展等の学校行事の実施やクラブ活動など、学生にとって充実した学園生活を送ることができた。	1,950人	好古学園大学校

③ 展示会、発表会の開催

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
55	高齢者作品展の開催	60歳以上の市民による絵画、書、工芸等の作品展を開催する。	出展作品数	380点	300点	【開催期間】8月24日～8月28日 【会場】姫路市民ギャラリー 【来場者数】1,294人	A	出展作品数が減少し、目標値を達成できなかったが、出展者や来場者の満足度は高く、継続開催への期待が大きい。	400点	生涯現役推進室
56	高齢者芸能発表会の開催	60歳以上の市民グループによる音楽やダンス等の発表会を開催する。	出演グループ数	55グループ	30グループ	【開催日】令和5年2月10日(金) 【会場】アクリエひめじ中ホール 【出演】30グループ 392人 【演目】舞踊、体操、コーラス等	A	校区老人クラブの解散などにより参加率が低下したが、参加者の満足度は高く、日頃の趣味活動の成果を発揮できる場として機能している。	60グループ	生涯現役推進室

(2) 学習活動に取り組む人への支援

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	生涯現役推進専門員の配置 ※No.27再掲	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施(年間120件) ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置のPR活動(ひめじおんまつり)	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役推進室

② 学習成果を生かす機会の提供

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
57	市民農園・レクリエーションファームの充実	市民農園・レクリエーションファームの充実を図る。	入園率	86%	85%	(1)市民農園 ・仁色ふるさと農園 入園率 43%(88/20) ・南恒屋ふれあい農園 入園率 77%(78/101) ・林田チャレンジ農園 入園率 100%(36/36) (2)レクリエーションファーム ・開園数 45園(協議会31 以外14) ・入園率(協議会) 94.8%(854.6/901.2)	B	収穫体験事業の参加者及び農園利用者の満足度は高いが、市民農園の入園率低下が続いているため。	90%	農政総務課
31-2	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	登録件数	145件	130件	・登録件数 130件 ・新規登録件数 0件、登録取消件数 2件 ・ひめじおんまつりにブース出展し、PRを実施 ・出先機関にパンフレット及び人材リストを設置、HPにも掲載	B	登録件数が減少し、目標値を達成できなかったが、ひめじおんまつりのブース出展により、ボランティア団体に人材バンク登録へのPRができた。	150件	生涯現役推進室

(3) 情報の活用

① 総合的な情報提供

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
58	インターネットによる 情報提供	生涯現役に関する情報を総合的に提供するポータルサイト「生涯現役ネットひめじ」を運営する。	アクセス数	51,000件	46,145件	生涯現役に関する必要な情報を「生涯現役ネットひめじ」へ随時更新を行った。	A	一定のアクセス数があり、内容についても必要な情報を適宜更新し、生涯現役に関する情報提供ができたと考え る。	54,000件	生涯現役推進 室
59	啓発パンフレットに よる情報提供	生涯現役に役立つ事業を紹介する冊子を作成し、配布する。	市の事業を紹介する冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。		市民の生涯学習や社会参加が促進されるよう生涯現役に関する市の事業を紹介する冊子を配布した。	生涯現役応援ハンドブックの作成・配布(4,000部)	A	冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加を促した。	啓発冊子を多くの 人に配布し、活用 してもらうことにより、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。	生涯現役推進 室
60	コミュニティFM放送 の活用	コミュニティFM放送を活用し、生涯現役に活躍する人の紹介や、生涯現役に関する情報を提供する。	出演回数	12回	12回	・コミュニティFM放送 「飛び出せ！まちの元気人」のゲストとして、毎月1回生涯現役な人を出演いただき、日頃の活動や生涯現役の秘訣を語ってもらった。(12回)	A	生涯現役で活躍する方の活躍をラジオを通じて多くの市民の方に発信し、高齢者に対して生涯現役の意識啓発を行うことができた。	12回	生涯現役推進 室 生涯学習大学 校 好古学園大学 校

② 情報格差の解消

No.	事業名	事業概要	R4事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	高齢者消費者被害 防止講座の開催 ※No.49再掲	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	30回	21回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、「高齢者消費者被害防止講座/悪質商法に強くなろう!」を開催	B	コロナ禍で対面での講座が困難な時期はあったが、高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を実施できた。	50回	消費生活センター
61	地域活動担い手パソコン講座の実施	地域活動担い手のためのパソコン講座を実施する。	受講者数	30人	24人	初心者のためのパソコン講座 12/19,20,21 3日間 受講者24人 (R3～R4累計 47人)	A	パソコンの便利な使い方・機能を習得いただき、満足度の高い評価を得た。	180人 (R3～R8累計)	生涯現役推進室
62	生涯学習大学校のパソコン講座等の充実	生涯学習大学校のパソコン講座等の充実を図る。	参加者数	216人	249人	・本科(基礎、応用、夜間基礎、夜間応用)各30人 ・短期パソコン講座(入門14人、ワード30人、エクセル30人) ・パソコン指導者養成講座 8人 ・スマホ講座 47人(アンドロイド34人、 아이폰31人)	A	パソコン指導者養成講座は応募者が減少傾向にあるが、短期パソコン講座は学びたいソフトごとの講座となっており受講者の満足度が高かった。スマホ講座は昨年度より定員を増やして開講した。	216人	生涯学習大学校
63	好古学園大学校スマホ講座等の開催	好古学園大学校の教養講座において、情報格差の解消に繋がる講座を開催する。	定員充足率	80%	93%	基礎編では主にスマホの使用方法や基礎知識、実践編では実際にスマホを使っでの情報の検索方法や発信方法などの講義 ・基礎編(1回) 参加者229人 ・実践編(2回) 参加者15人、15人	A	パソコンやプロジェクターを用いて高齢者にとって具体的でわかりやすい講義を行ったので、受講生が学んだことは、すぐに実践・応用できる。	80%	好古学園大学校
64	公民館デジタル・ディバイド対策講座の開催	公民館でデジタル・ディバイド対策講座を開催し、情報格差の解消に繋げる。	講座の実施回数	100回	104回	スマートフォン講座など含めて104回実施した	A	数値目標からして十分達成できたと考える。	68回	生涯学習課

(4) 社会参加への促進

① 交流する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	市民会館・地区市民センターの運営 ※No.10再掲	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	56%	55.40%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適で安全な施設整備を実施した。	B	目標数値を概ね達成することができた。 また利用者の満足度も高かった。	生涯現役推進室
65	高齢者交流施設の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、香寺いきがいセンター、家島宮老人の家他3施設を管営する。	利用者数	11,000人	6,552人	利用件数及び利用者数 ・家島宮老人の家 42件／486人 ・家島坊勢老人の家 48件／426人 ・家島真浦老人の家 93件／1,063人 ・家島男鹿老人の家 29件／107人 ・香寺いきがいセンター 814件／4,470人 合計1,026件／6,552人	B	全体としては、おおむね目標を達成することができた。	生涯現役推進室
66	老人福祉センター等の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、老人福祉センター等を運営する。	利用者数 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)	48,000人	42,675人	利用人数 【楽寿園】 31,630人 【家島老人福祉センター】 2,146人 【香寺健康福祉センター】 8,899人	B	新型コロナウイルスの影響により目標値を下回ったものの、校区登園や高齢者教室を実施するなど、健康の増進や教養の向上に資することができた。	生涯現役推進室 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉セン
67			利用者数 (すこやかセンター(老人福祉センター))	77,500人	62,824人	・校区登園 (登園日:197回・登園者数: 7,554人) ・教養講座の開催 (実施回数:197回) ・趣味の教室の開催 (248回開催・登園者数:4,386人) ・図書の貸出(貸出冊数: 224冊)	A	新型コロナウイルスの影響が残っており、利用者数は目標値には届かなかったが、徐々に利用者数は回復してきており、利用者の満足度も高い。	保健福祉政策課 (すこやかセンター(老人福祉センター))
68			利用者数 (夢前福祉センター(老人福祉支援施設))	6,000人	1,922人	【利用実績】 (開館日数) 306日 (施設総利用者数) 44,823人 (老人福祉支援施設利用者数) 1,922人 ※延人数	B	今年度も新型コロナの影響により利用者が減少しているものの、コロナ前の状況に戻りつつある。引き続き感染症対策に配慮しつつ、利用者回復に努めたい。	高齢者支援課 (夢前福祉センター(老人福祉支援室))

② 社会的孤立の防止と地域支え合い活動の推進

No.	事業名	事業概要	R4事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
69	ひとり暮らし高齢者へのふれあい食事サービスの実施	地域の高齢者のふれあい・交流を深め孤独感を解消し、生きがいの高揚を図るため、昼食を提供する。	ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいに根差して、感染対策を徹底した上で、引き続き継続していく。		ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と孤独感の解消に寄与することができた。	B	事業の目的である、ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいについて、概ね実現することができているため。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。	高齢者支援課
再掲	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援 ※No.16再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	515グループ	476グループ	B	コロナ禍で活動が自粛される状況ではあったが、地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	600グループ	地域包括支援課 保健所健康課
70	認知症サロンの充実	認知症の人であるか否かに関わらず、地域の高齢者が自由に通うことができる「認知症サロン」を支援する。	認知症サロン数	106グループ	95グループ	B	コロナ禍の影響もあり目標値は達成できなかったが、地域包括支援センターの介入のもと各グループで工夫して認知症サロンを開催し、認知症の早期発見及び進行防止に向けた支援ができた。	118グループ	地域包括支援課
71	認知症サポーターの養成	地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。	認知症サポーター数	47,000人 (累計)	46,837人(累計)	A	認知症サポーター養成講座を69回開催し、2,698人の養成を行った。 小学校で5回、中学校で9回の認知症サポーター養成講座を開催。10代の受講者は56.1%を占めている。	50,500人 (累計)	地域包括支援課
72	地域包括支援センターの充実	体の衰えや地域での暮らしに不安のある高齢者に対し、地域包括支援センターが相談・支援を行う。	生活支援及び介護予防にかかると地域課題を抽出し関係者間で共有できるようにする。		介護予防に関する地域課題について関係者間で共有することができた。	B	地域ケア個別会議の開催 ケアマネジメント力向上会議 24回 地域支えあい会議 111回 自立支援ケア検討会議 17回 地域マネジメント会議 4回	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができた。	地域包括支援課

③ 高齢者の外出促進

No.	事業名	事業概要	R4事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
73	高齢者交通安全教室の開催	参加体験型の学習を通して、交通安全意識の向上を図る。	受講者数	6,510人	4,857人	令和4年度は年間68回の高齢者交通安全教室を開催し、延べ4,857人が参加した。	A	関係機関と連携・協力し、交通事故防止の再認識を促しているため。	6,600人	危機管理室
74	公共交通のバリアフリー化の推進	高齢者・障害者等に配慮した公共交通のバリアフリー化を推進する。	事業者の申請に応じて公共交通バリアフリー化への補助を行い、公共交通のバリアフリー化を促進して、利用者の利便性を向上させる。		鉄道事業者から計画通りの申請があったため、補助を実施した。 バス事業者からの申請が予定台数より少なかったものの、補助を実施した。	・ノンステップバス購入経費の補助(神姫バス) 大型ハイブリッド1台 ・鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助 山陽電鉄・夢前川駅(設計)	B	事業者からの申請数が計画より少なかったものの、ノンステップバス導入や駅舎改修について補助を行い、バリアフリー化を促進し、利用者の利便性を向上させることができた。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。	地域公共交通課 鉄道駅周辺整備課
75	高齢者福祉優待カードの交付	65歳以上の市民を対象に、市内の11施設が無料になる優待カードを交付する。	延べ利用者数	82,000人	72,962人	【交付枚数】7,808枚 【延べ利用者数】72,962人	B	延べ利用者数の目標値には届いていないが、満足度は一定程度得ていると思われるため、概ね達成できた。	83,000人	高齢者支援課
76	高齢者バス等優待乗車助成事業の実施	75歳以上の市民を対象に、バス、鉄道、船舶、タクシー(タクシーは要介護2から5の人のみ)のうち、いずれか1つの交通機関の優待乗車券を交付する。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。		対象者への申請書の送付及び申請に基づいた優待乗車証等の交付を行い、高い交付率を維持することができた。	【交付実績】(令和5年3月31日現在) 対象者数 69,331人 交付者数 63,462人 バス 24,188人 鉄道 37,598人 船舶 708人 タクシー 968人 交付率 91.5%	A	交付率は90%を超えて安定している。高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができた。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。	高齢者支援課